

## 研究活動一覧

「研究活動一覧」は、当所研究員の研究活動と研究内容や関心分野を、読者の皆様にタイムリーに提供することを目的としています。研究内容の詳細につきましては、直接担当研究員までお問い合わせ下さい。

## 【研究論文および雑誌記事等】

研究員名	表題	発表誌等、巻・号	発表年月
相川良彦	ワインと花と福祉	グリーン情報	2006.10
上林 篤幸	北イタリアの稲作-EUコメ政策改革の意義 と影響	2006 年度日本農業経済学会報告論文 集	2006.12
上林 篤幸	歴史を踏まえたEU(欧州連合)砂糖政策の 転換点~今後の動向に注目~	月刊砂糖類情報 No.123	2006.12
上林 篤幸	「OECD-FAO Agricultural Outlook 2006-2015」の概要(砂糖関連部分)〜今後 の世界砂糖市場の動向	月刊砂糖類情報 No.122	2006.11
上林 篤幸	「バイオ燃料の動向の影響に注意が必要; OECD-FAO農業見通し 2006-2015 の概要」	月刊食料と安全 第4巻第11号	2006.11
上林 篤幸	どうなる?乳製品の国際マーケット 「OECD Agricultural Outlook 2006-2015 の概要」	別冊Dairy Japan 牛乳生活情報 48号	2006.11
佐藤百合香・大橋め ぐみ	日本短角種牛肉の地場消費者の特徴	農業経営通信(中央農業研究センター) 230, 34-37	2006.12
岡江恭史	ベトナム村落の市場経済化と農民の選択	日本村落研究学会研究通信 217 号	2006. 9
小野智昭	農外企業の農業参入と農地制度について	農政調査時報 No.556	2006.12
勝又健太郎	米国ニューヨーク州の生乳生産における規模 の経済 スタンチョンとパーラーの比較	2006 年度日本農業経済学会論文集	2006.12
河原昌一郎	中国郷鎮企業の株式合作制に関する制度的考察	農林水産政策研究所レビュー 21	2006.10
河原昌一郎·明石光 一郎	中国における農民収入の増加に伴う食糧生産 量の変化に関する一考察	農林水産政策研究所レビュー 22	2006.12
小泉達治	米国農務省における穀物等中期需給予測について	食料と安全 第4巻	2006.12
小泉達治	ブラジルにおけるバイオディーゼル計画の実態と課題	2006 年度日本農業経済学会論文集	2006.12

研究員名	表題	発表誌等,巻・号	発表年月
小泉達治	世界のバイオエタノール政策と農産物	Dairyman Vol56,No 12	2006.12
小林茂典	需要動向からみた加工・業務用野菜の今後の 展開予測	施設と園芸 第135号	2006.10
Takeshi Sakurai	Measurement and Analytical Framework on Social Capital	Potential of Social Capital for Community Development (Asian Productivity Organization)	2006.11
Takeshi Sakurai	Role of Social Capital for Economic Development: Evidence and Issues	Potential of Social Capital for Community Development (Asian Productivity Organization)	2006. 3
蠳井武司	「辻井博・松田芳郎・浅見淳之編著『中国農 家における公正と効率』(書評)」	農業経済研究 第78巻第3号	2006.12
佐々木宏樹	「環境支払い政策の制度設計——行動経済学 の政策適用——」	農業経済研究別冊 2006 年度日本農業 経済学会論文集	2006.12
須田文明他	バティフリエ『コンヴァンシオン理論の射程: 政治経済学の復権』(翻訳)	昭和堂	2006.11
須田文明	力と議論:シャトーレイノによるナノテクの 言説分析	科学技術社会論学会第5回大会報告予 稿集	2006.11
須田文明	資本主義の新しい精神と企業倫理	経済理論学会第54回大会予稿集	2006.10
須田文明他	エマール=デュヴルネ『企業の政治経済学』	ナカニシヤ出版	2006.12
中川尚志·相原佑康· 高橋祐一郎	STS研究における政府系政策研究機関のネットワーク化について	科学技術社会論学会第5次年次研究大 会予稿集	2006.11
高橋祐一郎	ナノテクノロジーと市民的価値	科学技術社会論学会第5次年次研究大 会予稿集	2006.11
三上直之·杉山滋郎・ 山口富子・高橋祐一 郎	ナノテクの社会適用における市民参加型手法 の可能性	科学技術社会論学会第5次年次研究大 会予稿集	2006.11
立川雅司	「アメリカにおける遺伝子組換え作物規制の 特徴——上市前認可権限と上市後監督権限— —」	『Techno Innovation(テクノイノベーション)』,(社)農林水産先端産業技術振 興センター(STAFF) 62号, 58-59頁	2006.12
樋口倫生	韓国農業部門の相対的縮小過程に関する分析	『2006 年度日本農業経済学会論文集』	2006.12
樋口倫生	「牛の月齢判別に関する検討会」報告書に対 する検証	2006 年度地域農林経済学会大会報告 要旨	2006.10
福田竜一	政治的圧力が関税交渉に及ぼす影響	2006年 日本農業経済学会論文集	2006.12
薬師寺哲郎	砂糖関連部門の波及効果と国民負担――地域 間産業連関表を用いた分析――	農林水産政策研究 12	2006. 9

研究員名	表題	発表誌等、巻・号	発表年月
薬師寺哲郎	砂糖関連部門の波及効果と国民負担——地域 間産業連関表を用いた分析——	農林水産政策研究所レビュー 22	2006.12
薬師寺哲郎	食料・農業	統計でみる日本 2007 ((財) 日本統 計協会)	2006.11

## 【口頭発表および講演】

講演者	講演	講演会名	発表年月日
伊藤順一	Inter-Regional and Inter-Temporal Differences of Agricultural Productivity in China: Distinction between Biochemical and Machinery Technology	TEA研究会	2006.11.18
大橋めぐみ・永田淳 嗣 (東京大)	短角牛肉流通のシステム論的分析	人文地理学会大会(人文地理学会)	2006.11.12
金子いづみ	集落営農の目的とリーダーの役割	集落営農推進リーダー養成講座:旭会 場(千葉県水田農業推進協議会)	2006.10.12
金子いづみ	集落営農の目的とリーダーの役割	集落営農推進リーダー養成講座:印旛 会場 (千葉県水田農業推進協議会)	2006.10.17
金子いづみ	集落営農にどう取り組むか	平成18年度営農生活指導員パワーアップ大会 50 周年記念大会 記念講演会(佐賀県農協営農生活指導員協議会)	2006.10.31
金子いづみ	集落営農にどう取り組むか	共済部長研修会 (三豊農業共済組合)	2006.11. 5
金子いづみ	集落営農の組織形態と中山間地域における集 落営農の可能性	第 44 回農政連・農業者連盟幹部研修 会(福井県農政連)	2006.11.13
金子いづみ	「集落営農」戦略下での富山県の集落営農の 展開と課題	平成 18 年度JA営農指導員研修会(富山県農業協同組合中央会)	2006.12.11
河原昌一郎	中国の農業問題:食糧,労働力,土地問題を 中心として	中国研究会(財務総合政策研究所)	2006.12.15
小泉達治	「米国と中国におけるバイオ燃料政策の拡大 が国際とうもろこし需給に与える影響」	我が国における食料供給予測に関する ワーキンググループ (総合食料局食料 企画課)	2006.10.25
小泉達治	「米国と中国におけるバイオ燃料政策の拡大 が国際とうもろこし需給に与える影響」	地球温暖化と食料需給に関する講演会 (農林水産政策研究所)	2006.10.25
小泉達治	「バイオ燃料政策の国際的動向と中南米」	中南米勉強会(JICA)	2006.11. 2
櫻井武司	西アフリカにおける低湿地稲作の集約化と緑 の革命の可能性	名古屋大学農学国際教育協力研究センター第 7回オープンフォーラム「アフリカにおける稲 作振興の現状と今後の日本の役割 – NERICA	2006.10.20
Takeshi Sakurai, Jun Furuya, and Koichi Futakuchi	The Role of Industrial Cluster in Market Development: The Case of Rice Milling in Ghana	2006 年秋季TEA研究会 (TEA研究会)	2006.11.18
Takeshi Sakurai and Kimseyinga Savadogo	War-Induced Covariate Shocks and Poverty in Burkina Faso	平成 18 年度 貧困削減開発戦略研究 会(国際開発高等教育機構)	2006.12.16 ~ 17

講演者	講演	講演会名	発表年月日
鈴村源太郎	認定農業者の経営管理能力とマーケティング 対応力	平成 18 年度日本農業経営学会研究大 会個別報告(日本農業経営学会)	2006.10.22
高橋祐一郎・小林傳 司・八木絵香	科学コミュニケーションを促す市民参加型手 法の実践例「コンセンサス会議」	サイエンスアゴラ 2006 ワークショップ「参加型科学コミュニケーションの 多様性」(科学技術振興機構)	2006.11.26
立川雅司	「情報の現状及びその課題――街にある情報から考える――」	お茶の水女子大学「化学・生物総合管 理再教育講座」後期	2006.10.27
立川雅司・河野恵伸 (農業・食品産業技 術総合研究機構)	「ナノテクをめぐる政策と市民:バイテクの 経験から学べること」	科学技術社会論学会,北海道大学	2006.11.11 ~ 12
伊藤寛幸, 林岳, 山本充	広域農道によるリダンダンシー機能の効果分 析	第 56 回地域農林経済学会大会	2006.10.29
林岳, 高橋義文, 山 本充	NAMEAによる地域農林業の環境影響評価	日本応用経済学会 2006 年度秋季大会	2006.11.25
松原明紀	農政改革について	「実務公共政策」(各府省によるオム ニバス講義)の一つとして(早稲田大 学大学院公共経営研究科)	2006.12.14
山下憲博	日中の農業保険の相違点について	日中農業保険セミナー (中国国務院発 展研究センター及び中国農業科学院農 業経済発展研究所)	2006.10.11